

こんびらやまこふん  
「金比羅山古墳」

- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 1875 番地・1876 番地
- 所 有 者 個人
- 概 要 円墳 直径 10m、高さ 2m、面積約 78.5 m<sup>2</sup>
- 時 代 古墳時代（7 世紀末）
- 公 開 いつでも可

冠着山<sup>かむりきやま</sup>の支尾根<sup>しおね</sup>端部の金比羅山<sup>こんびらやま</sup>の頂上に構築された古墳で雑木の山林の中にある、直径 10m、高さ 2m ほどの小円墳です。墳頂部には、盗掘のためと思われる窪みがありますが、石室は確認されていません。葺石<sup>ふきいし</sup>の存在、裾石列<sup>だんちく</sup>、段築なども確認できていません。内部施設は、盗掘坑でみる限り木棺直葬<sup>もつかんじきそう</sup>かと推定されますが明らかではありません。

盗掘による損傷がありますが、墳丘は、ほぼ原形を保っているとみえます。上山田小学校<sup>上山田</sup>所蔵の須恵器<sup>すえき</sup>の長頸壺<sup>ちようけいこ</sup>が、この古墳から出土したものとすると、7 世紀代の最終末の古墳と考えられます。

